



# 伴野豊の絆レポート No.41



## 伴野豊の活動報告

みなさん！こんにちは、伴野豊です。二月も半ば過ぎ、私の地元知多半島では春の訪れを慶ぶ行事が満載、先日雪の降る中、知多市佐布里池の梅祭りに行って参りました。まだまだ寒い日が続きますが、一步一步春は確実にやって来ております。

さて国会ですが、先週、総理の所信表明はじめ政府四演説が行なわれ、今週は代表質問へと続いております。我が党は岡田代表が格差社会の是正、安全保障など、総理の政治姿勢を厳しく質しました。いよいよ本格的な論戦が繰り広げられますので、どうぞご期待下さい。

まだまだ朝夕冷たい日もありますが、季節も人生も冬の後には必ず春が来ます。しっかり頑張ってお参りますので、引き続きどうぞよろしくお願い致します。



知多市公認キャラクター  
梅子

## 伴野豊の気になる政策

最近の動きと気になる政策をご紹介します。

### ○平成27年度国土交通省当初予算案(1月15日)

国土交通省の15年度一般会計予算案は、総額5兆7887億円で前年度比0.2%増となりました。このうち、災害復旧を含めた公共事業関係費は5兆1767億円で前年度と同水準となり、「東日本大震災からの復興加速」「国民の安全・安心の確保」「地域の活性化」「成長戦略の具体化」に重点化。民需主導の持続的な経済成長を促す施策に重点化する「新しい日本のための優先課題推進枠」には7249億円が配分されました。

国交省は、再度災害防止への集中投資や防災情報の強化などハード・ソフトを総動員した防災・減災対策や、戦略的なインフラ老朽化対策を進めるとしています。

### ○「新たな国土形成計画(全国計画)中間整理」を公表(1月19日)

おおむね10年間にわたる国や地域づくりの基本方針となる「国土形成計画」の改定に向け、考え方の中間整理を1月19日に発表した。基本構想として、地域相互に人・モノが流れる「対流促進型国土」を掲げるとともに、都市や集落の機能を集約することで人口減少に対応する必要性を唱えています。

国交省は、昨年7月に2050年を見据えた「国土のグランドデザイン」がまとまったのを踏まえ、改定に向けて国土審議会計画部会で審議を進めていました。今後、この中間整理で示した論点を文章化した「中間とりまとめ」を行い、本年夏頃の最終報告とりまとめを予定しています。

### ○平成26年度国土交通省関係補正予算の配分(2月4日)

平成26年度国土交通省関係補正予算の配分が公表されました。「現下の経済情勢等を踏まえた生活者・事業者への支援」として20億円、「地方が直面する構造的課題等への実効ある取組を通じた地方の活性化」として130億円、災害・危機等への対応として1,798億円です。国庫債務負担行為(ゼロ国債)は2,511億円となります。知多半島では、常滑地域における浸水対策の推進と雨水ポンプ場の更新化として常滑市に360万円、沿岸部・離島の津波対策に重点を置いた減災まちづくりとして南知多町に1300万円の防災安全交付金が配分されます。

## 伴野豊の気になる本

今回の伴野豊の気になる本は、浅田次郎の「日本の『運命』について語ろう」です。超少子高齢化社会であり、人口減少社会である日本。デフレ脱却と株価の為なら何でもありの経済政策によって格差が拡大している日本。衆より個の利益を、未来より現在を大切にしたい今の日本。「なぜ歴史を学ぶのか？」から、日本の「運命」について語る。

「科学は経験の累積によって確実に進歩をとげるが、人類が科学とともに進化していると考えるのは重大な錯誤である。人間は時代とともに進歩ではなく変容し、あるいは退行しているのだという謙虚な認識を持たなければ、時代小説どころかほんの一昔前の舞台すらも、正しく描くことはできない。たとえば、戦争というものなどは、その重大な錯誤と認識の不足のせいでくり返されると思われる。」

政治家としても肝に銘じておきたい。

幻冬舎(定価: 本体 1200 円+税別)

**ば** ばんの豊フェイスブックページ

検索 🔍

国会事務所 〒100-8981 千代田区永田町 2-2-1

衆議院第一議員会館 711 号室

TEL : 03-3508-7064

地元事務所 〒475-0836 半田市青山 2-19-8

TEL : 0569-25-1888 HP : bannoyutaka.jp

衆議院愛知第8選挙区: 半田市 常滑市 東海市 知多市

阿久比町 東浦町 南知多町 美浜町 武豊町

